



第 14 回シェル空間構造アジア太平洋会議 (APCS 2025) 低炭素社会に貢献するシェル・空間構造のデザインと施工技術

■会期 2025 年 6 月 9 日 (月) ~ 6 月 12 日 (木)

■場所 金沢市文化ホール 石川県金沢市高岡町 15 番 1 号

■主催 APCS 2025 組織委員会

■後援

国際シェル空間構造学会 (IASS)、世界構造技術者会議 (SEWC)

一般社団法人 日本建築学会、一般社団法人 日本建築構造技術者協会、

一般社団法人 日本膜構造協会、公益財団法人 能村膜構造技術振興財団

公益財団法人 金沢コンベンションビューロー

■会議の沿革

「シェル空間構造アジア太平洋会議 (APCS, Asian Pacific Conference on Shell and Spatial Structures)」は故 半谷裕彦 東京大学教授と権宅鎮 韓国成均館大学名誉教授が発起された「シェルと空間構造に関する日韓コロキウム」を起源とする国際会議です。第 1 回会議は 1984 年に韓国の Cheju (済州)、第 2 回は 1987 年夏に日本、第 3 回は 1990 年夏に韓国で行われ、第 4 回まで日本と韓国で交互に定期的に行われました。第 4 回の会議が 1993 年 10 月に東京で行われた際、会議を国際シェル・空間構造学会 (International Association for Shell and Spatial Structures - 略称 IASS) と共同で開催することになり、続く第 5 回が 1996 年に北京で行われたときに、日韓以外の近隣諸国も参加する機会として、会議の名称を「シェル空間構造アジア太平洋会議 (APCS)」に変更されました。それ以来、APCS は 3 年ごとに各国で開催してきました。以降、第 6 回を 2000 年にソウル (韓国)、第 7 回を 2003 年に台北 (台湾)、第 8 回を 2006 年に北京 (中国)、第 9 回を 2009 年に名古屋 (日本)、第 10 回を 2012 年にソウル (韓国)、第 11 回を 2015 年に西安 (中国)、第 12 回は 2018 年にペナン (マレーシア)、第 13 回は 2022 年に北京 (中国、IASS と合同) で開催されました。第 1 回日韓コロキウムから 41 年の 2025 年、第 14 回を金沢 (日本) で開催することとなりました。

■会議開催の目的

本会議は建築家、構造家、関連領域のエンジニアおよび研究者に、シェル構造、空間構造、並びに関連する構造物の設計事例、設計・生産・維持管理に関する技術開発あるいは研究成果の発表・公開を通して、最新情報の交換の場を提供することで、この分野の学術・技術の発展に貢献することを目的としています。

■会議の特色

本会議の基調講演で、「低炭素社会に貢献するシェル・空間構造のデザインと施工技術」を含めて、シェル・空間構造に関する幅広い問題提起をするとともに、アジア太平洋地域を中心とする参加者から最先端の情報を発信・共有します。本会議の主題に関する建設系材料として、鋼材、コンクリートに関しては、製造過程で温室効果ガス、特に CO₂ を発生させない、または CO₂ を回収する製造技術が国内外で開発されています。また木材は炭素を貯蔵する天然材料が故、森林を炭素吸収源として



2008年以降、期待されるCO₂吸収量の実現に向けて国内の森林整備と保全が進められています。これらの材料と組み合わせて大空間を構築するシェル・空間構造は、今後、低炭素社会に向けて重要な役割を果たすと考えられます。

APCSはアジア太平洋地域の建築家、構造家、関連領域のエンジニアおよび研究者間のネットワーク形成に貢献しています。さまざまな構造物の設計において上記の課題解決を推進するためには、建築家、構造家とエンジニアのさらなる連携が必要になります。

■準備スケジュール

- ・2023年6月 組織委員会、運営委員会の設置
- ・2023年11月 助成金の決定
- ・2023年12月 会場正式予約、銀行口座開設
- ・2023年12月 会議専用ウェブページ立ち上げ
- ・2024年7月 論文募集 Call for Papers
- ・2024年9月 コンベンション誘致推進事業補助金申請
- ・2024年10月 論文発表申込締切
- ・2024年12月 論文の申込み
- ・2025年2月 論文締切
- ・2025年4月 参加募集 Call for Participation
- ・2025年4月 メンバーシップブース（受付）、セッション部屋割り等会場詳細決定
- ・2025年5月 最終プログラムの決定
- ・2025年6月 会期

■組織委員メンバー（2024/04/1 現在）

- ・ **General Chair** 西村 督（金沢工業大学）
- ・ **Honorary Chair** 大崎 純（京都大学）
- ・ **Secretary** 張 景耀（京都大学）
- ・ **Advisory Committee** 斎藤公男（日大名誉教授）、加藤史郎（豊橋技科大名誉教授）、高山 誠（金工大名誉教授）、大森博司（日大名誉教授）、竹内 徹（東工大）、川口健一（東大）、Kok Keong Choong（マレーシア）、J.Y. Richard Liew（シンガポール）、Mike Xie（オーストラリア）、Carlos Lázaro（スペイン）、Sergio Pellegrino（アメリカ合衆国）、Suduo Xue（中国）、Yigang Zhang（中国）、Seung Deog Kim（韓国）
- ・ **Scientific Committee** 熊谷知彦（明大）、舘 知宏（東大）、山本憲司（東海大）、武藤 厚（名城大）、横須賀洋平（鹿児島大）、吉中 進（早稲田大）、宮里直也（日大）、三木優彰（東大）、松尾知恵（明星大）、石川浩一郎（福井大）、中澤祥二（豊橋技科大）、藤田慎之輔（北九州市大）、箕輪健一（日本工大）、林 和希（京大）Boohwan Bae（韓国）、Seung-Jae Lee（韓国）、Jae-Yeol Kim（韓国）、Dong-Woo Lee（韓国）、Jinzhi Wu（中国）、Zhihua Chen（中国）、Minger Wu（中国）、Yaozhi Luo（中国）、Qilin Zhang（中国）、Jiaming Ma（オーストラリア）
- ・ **Local Organizing Committee** 山下哲郎（工学院大）、西村 督（金工大）、萩原伸幸（大同大）、木村俊明（名市大）、中楚洋介（山田憲明構造設計事務所）、永井拓生（滋賀県立大）、寺澤友貴（東工大）、松本幸大（豊橋技科大）、瀧内雄二（豊橋技科大）、早川健太郎（日大）、張 天昊（名城大）、浅岡泰彦（大林組）、山田達也（竹中工務店）、久米建一（清水建設）、喜多村淳（太陽工業）

■問い合わせ

Email: apcs2025@gmail.com

Website: <https://confit.atlas.jp/guide/event/apcs2025/top>